



# 第7次 入善町総合計画

2021 - 2030年 [概要版]

第2期 にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略

扇状地に**夢**と**笑顔**があふれるまち入善

～ 子どもたちの未来のために ～



## ごあいさつ



入善町は、豊かな黒部川の水と、その流れが作りあげた扇状地が広がる、水と緑の恵みにあふれる豊かなまちです。

春には、北アルプスと色とりどりのチューリップ、夏には、町の恵みを受けて大きく育った入善ジャンボ西瓜、秋には、一面に広がる黄金色の田園風景、冬には、激しく波打つ日本海と雪化粧した北アルプス。

黒部川扇状地が魅せる四季折々の風景は、日本のふるさとの風景であり、先人の苦勞と知恵により培われ、受け継がれてきた誇るべき宝であり、私たちは、入善町に生まれ育ったことを誇りに思います。

現在、私たちは、これまでに経験したことのない人口減少の時代に直面しています。

「ストップ人口減少」を最重要課題に、私たちのふるさとは、皆さんの笑顔であふれ、子どもたちの笑い声が響き合うまちであり続けることができるよう、強い思いを込めて新たな総合計画の策定を進めてきました。

このたび策定しました第7次入善町総合計画は、「水」が支える自然と文化、「大地」が築く暮らしと産業、そして「人」が育む未来と安心をまちづくりの基本理念に、目指す将来像を「扇状地に夢と笑顔があふれるまち入善 ～子どもたちの未来のために～」としました。

この将来像は、これからの町を担う子どもたちが、大きな夢をもって、笑顔で成長していくことができるよう、恵み豊かな黒部川扇状地に描いた未来の入善町の姿です。

第7次総合計画で掲げた将来像を実現するため、町の豊かさの象徴である水のように、町に関わる皆さんの「未来」「夢」「暮らし」「笑顔」「恵み」が湧き上がるまちづくりを展開し、10年後の夢と笑顔を築き上げてまいります。

最後に、この計画を策定するにあたり、貴重なご意見やご提案をいただきました町民の皆さまをはじめ、多大なるご尽力をいただきました総合計画審議会委員、町議会議員および関係者の皆さまに深く感謝の意を表するとともに、今後とも未来を担う子どもたちが、生まれ育った入善町で将来にわたって暮らすことができるよう、皆さんのアイデアを支えに、共に前進してまいりますので、より一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年3月

入善町長 笹島 春人



# 総合計画とは

第7次入善町総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。  
また、総合計画は地方創生に関する施策や事業を抽出し策定した、地方版総合戦略を内包しています。

## 基本構想

町が目指すべき将来像やその実現のためのまちづくりの基本方針などを示すものです。計画期間は令和3年度から令和12年度までの10年間です。

## 基本計画

基本構想に示すまちづくりの基本方針などに基づいて、基本的な施策や取組みなどを示すものです。計画期間は5年とし、基本構想の10年間の中で、前期計画と後期計画に分けて計画を進めます。

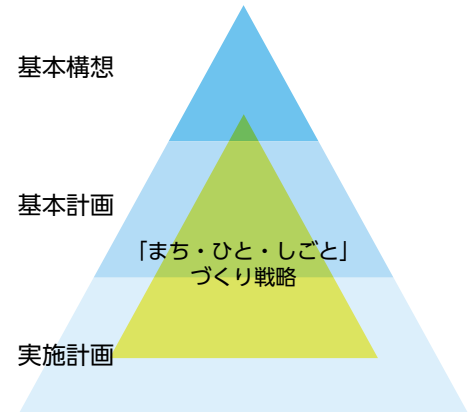
- ・前期計画：令和3年度から令和7年度まで
- ・後期計画：令和8年度から令和12年度まで

## 実施計画

基本計画で示された基本的な施策などを実現するための具体的な事業を定めるものです。計画期間は3年とし、毎年度、\*ローリング方式で事業の見直しを行います。

\*ローリング方式……現実と長期計画のズレを埋めるために、施策・事業の見直しや部分的な修正を、毎年転がすように定期的に行っていく手法。

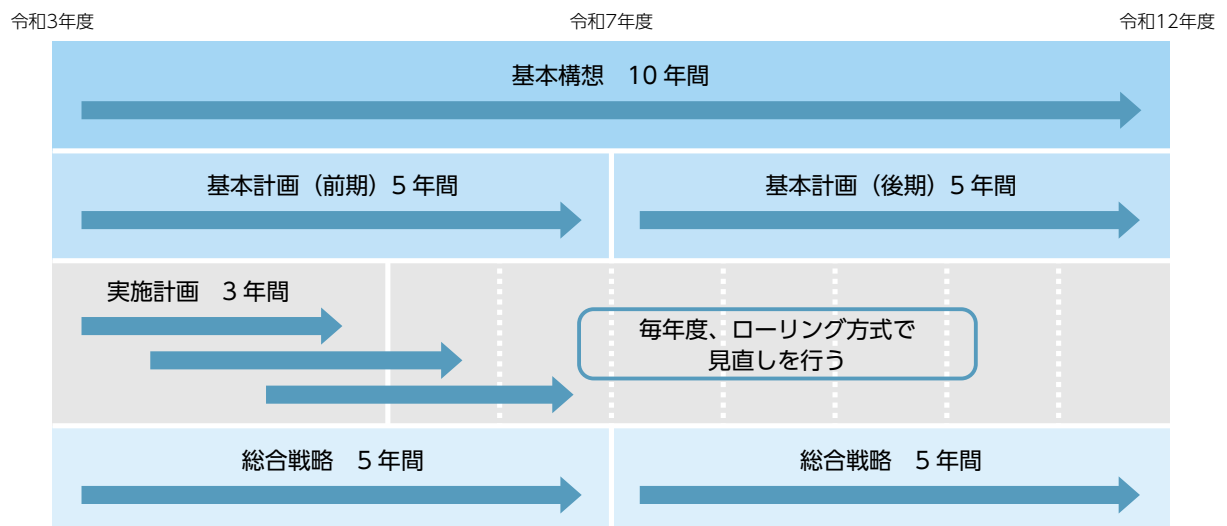
## 入善町総合計画



## にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略

人口減少問題を克服し、地方創生の実現に向けて集中的に取り組むため、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする地方版総合戦略「にゅうぜん『まち・ひと・しごと』づくり戦略」を策定しています。

本計画においても、総合戦略に掲げる基本目標や方向性等を包括的に位置づけ、施策横断的に推進します。



## I 基本理念 ～まちづくりの基盤～

「入善町は3つの恵みから成り立っています」

### 水 が支える自然と文化



恵みの源泉である黒部川の湧水が、先人から受け継いだ豊かな自然環境や伝統・文化を支え、ふるさとへの愛着や誇りを後世へと確実につないでいきます。

### 大地 が築く暮らしと産業



黒部川扇状地の大いなる大地が、安全な暮らしと魅力ある産業を築き上げ、居心地の良い、実りのある生活を創出していきます。

### 人 が育む未来と安心



様々な出会いや交流と、そこに生まれる人のつながりが、未来を担う人と支えあう心を育み、安心と思いやりのある社会を構築していきます。

## II 将来像 ～目指す将来の姿と合言葉～

「入善町が目指していくまちの姿です」

黒部川の水の流れが育む、うるおいの大地「黒部川扇状地」は、私たちの暮らしを豊かにするかけがえのないふるさとです。

水の恵みを得るために、先人たちは多くの困難に向き合い、克服するための様々な知恵を生み出してきました。私たちの暮らしの中になくってはならない水を守り、活かしてきたことで、今の入善町の恵みがあるのです。

先人たちから受け継いできた歴史や経験、知恵が詰まった黒部川扇状地を、貴重な財産としてさらに磨き上げ、未来に引き継いでいくことが入善町のまちづくりの基本です。

本格的な人口減少時代を迎える一方で、地方創生や地方回帰の機運が高まり、地方での安心とゆとりのある暮らしが注目されています。

入善町には誰もがあこがれる、魅力ある資源があふれています。町の発展を支えてきた「水」と「大地」は、すべての「人」にとって普遍的な魅力となる可能性に満ちています。



## 「子どもたちが描く未来の入善町」



まちづくり絵画作品 最優秀賞受賞作品  
「30年後の学校」飯野小学校4年 瀧本 麦さん

入善町に関わるすべての人が、町への愛情と自信にあふれ、お互いが活躍し、つながり、支え合うことで、人口減少の時代を克服し、豊かな暮らしと新たな物語を創造していきます。

長い年月をかけて育まれてきた扇状地に湧き上がる水、四季が織り成す豊かな自然と人々の営みがまちに彩りを与えます。総合計画では、入善町とつながるすべての人の夢と笑顔があふれるまちとなるよう思いを込めて、将来像を次のとおり定めます。

## 『扇状地に 夢と笑顔があふれるまち 入善』

～子どもたちの未来のために～

## Ⅲ まちづくりの大綱

### 【基本構想】

#### ■基本理念

～まちづくりの基盤～

**水**が支える自然と文化  
恵みの源泉である黒部川  
の湧水が、先人から受け  
継いだ豊かな自然環境や  
伝統・文化を支え、ふる  
さとへの愛着や誇りを  
後世へと確実につないで  
いきます。

#### ■大地

黒部川扇状地の大いなる  
大地が、安全な暮らしと  
魅力ある産業を築き上げ、  
居心地の良い実りのある  
生活を創出していきます。

#### ■人

様々な出会いや交流と、  
そこから生まれる人の  
つながりが、未来を担う人  
と支えあう心を育み、安心  
と思いやりのある社会を  
構築していきます。

#### ■将来像

～まちづくりの  
合言葉～

扇状地に夢と笑顔があふれるまち入善

子どもたちの未来のために

#### ■まちづくりのテーマと基本目標

～まちづくりの方向性～

##### 未来

#### 1. 未来を育む、 出会いのあるまちづくり

人口減少が進む中においても、  
様々な出会いを創出し、新たな  
人のつながりを育むことで、町の  
未来を担う人づくりを進めます。

##### 夢

#### 2. 夢をかなえ、 活躍できるまちづくり

魅力ある産業や雇用、交流を創出  
することで、地方回帰の機運を  
最大限に発揮し、町と関わるすべて  
の人の夢をかなえる新たな機会と  
活躍の場をつくります。

##### 暮らし

#### 3. 暮らしやすさを築き、 やすらぎのあるまちづくり

災害の少ない地域であるという  
強みを活かしながら、誰もが便利  
で快適に安心して暮らすことが  
できる、居心地のよい生活基盤を  
築き上げていきます。

##### 笑顔

#### 4. 笑顔をささえる、 幸せなまちづくり

充実した福祉と医療体制に支え  
られ、地域ぐるみの健康づくりと  
良好な生活習慣が健康寿命の延伸  
をもたらす、笑顔で幸せを実感  
できる思いやりのまちをつくります。

##### 恵み

#### 5. 恵みがつなぐ、 文化のまちづくり

町の財産である湧水などの豊かな  
資源や扇状地に広がる恵まれた  
自然環境、美しい景観とそこに  
根付く伝統文化を守り、後世に  
確実に伝えていきます。



## 【基本計画】

### ■政策の柱

～各まちづくりの展開方針～

(1)新たな出会いといのちを育む  
まちづくり  
【結婚／子育て】

(2)豊かなところとからだを育てる  
教育の推進  
【教育】

(3)地域資源を活かした魅力ある  
しごとづくり  
【産業／雇用】

(4)多様な交流と移住・定住  
の促進  
【交流／定住】

(5)快適な生活基盤と持続可能な  
社会の構築  
【生活基盤】

(6)安心・安全体制の強化と備え  
の充実  
【防災／安全】

(7)福祉・医療の充実とささえる  
社会の仕組みづくり  
【福祉／医療】

(8)健やかに暮らし続ける健康  
づくりの推進  
【健康づくり】

(9)豊かな自然環境の保全と  
地域資源の活用  
【自然／資源】

(10)ふるさとの文化の保存と伝承  
【郷土／文化】

### ■まちづくりの進め方

～具体的な施策と横断的な視点～

- (1)-1 多彩な出会いの創出
- (1)-2 妊娠・出産・子育てのきめ細やかな支援
- (1)-3 安心の保育・幼児教育の確保
- (2)-1 深い学びと特色ある学校づくりの推進
- (2)-2 時代に適した教育環境の整備
- (2)-3 郷土を愛するところの醸成

- (3)-1 活気ある農水商工業の振興と連携
- (3)-2 企業誘致と起業・創業の推進
- (3)-3 多様な働き方と雇用の創出

- (4)-1 魅力の創出と多様な交流の促進
- (4)-2 地元定着とUターン促進
- (4)-3 国際交流と外国人材の受入れ

- (5)-1 市街地の再構築と地域交通網の充実
- (5)-2 利便性の高い社会基盤の構築
- (5)-3 居心地の良い生活空間の創出

- (6)-1 防災基盤の強化と備えの充実
- (6)-2 防犯・交通安全対策の推進
- (6)-3 消防・救急体制の充実

- (7)-1 福祉で支える暮らしの推進
- (7)-2 医療体制の充実と連携によるケア体制の構築
- (7)-3 誰もが活躍できる社会の実現

- (8)-1 適切な生活習慣と健康づくりの推進
- (8)-2 介護予防・フレイル予防の推進
- (8)-3 生涯スポーツの推進

- (9)-1 豊かな水資源と大地の活用・保全
- (9)-2 地域資源の発掘と活用
- (9)-3 循環型社会の構築

- (10)-1 伝統文化の保存と伝承
- (10)-2 芸術・文化の振興
- (10)-3 生涯学習の機会創出

計画推進の体制

町民と行政が共に歩むまちづくり

【計画推進のために】

地方創生の実現

人口減少を克服するまちづくり

【ストップ人口減少】

## Ⅳ まちづくりのテーマと基本目標 ～まちづくりの方向性～

「将来像を実現するためのテーマと5つの基本目標です」

### 未来

#### 1. 未来を育む、出会いのあるまちづくり

人口減少が進む中においても、様々な出会いを創出し、新たな人のつながりを育むことで、町の未来を担う人づくりを進めます。



#### (1) 新たな出会いといのちを 育むまちづくり 【結婚 / 子育て】

未婚化、晩婚化の進行が少子化に拍車をかけている現状において、若い世代が希望どおりに結婚し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目のないケア体制による不安の解消と充実した支援による経済的負担の軽減を図っていきます。

また、多様なニーズに対応した質の高い保育サービスを提供することができる保育所づくりに努めます。

##### 【具体的な施策】

- (1)－ 1 多彩な出会いの創出
- (1)－ 2 妊娠・出産・子育てのきめ細やかな支援
- (1)－ 3 安心の保育・幼児教育の確保

##### 【効果を示す主な指標】

	基準値	R7目標
人口千人あたり婚姻件数	3.0件 (R1)	3.2件
人口千人あたり出生件数	4.1件 (R1)	7.5件
子育て環境や支援への満足度	49.2% (R1)	70.0%

#### (2) 豊かなところとからだを 育てる教育の推進 【教育】

人口減少が進む中、生まれ育った町に定着する人づくりが重要です。学校教育においては、基礎学力や基礎体力を育む教育内容の充実に加え、心豊かな子どもの育成を図っていくことが必要です。

また、ICTを有効に活用した多様な学びを創出するなど、時代の変化にも適切に対応した深い学びを推進していきます。

##### 【具体的な施策】

- (2)－ 1 深い学びと特色ある学校づくりの推進
- (2)－ 2 時代に適した教育環境の整備
- (2)－ 3 郷土を愛するところの醸成

##### 【効果を示す主な指標】

	基準値	R7目標
学校が楽しいと感じる児童の割合	79.6% (R1)	90.0%
インターネットを主に勉強や調べものに使う生徒の割合	17.5% (R1)	21.0%
将来の夢や目標がある生徒の割合	72.1% (R1)	80.0%





# 夢

## 2. 夢をかなえ、活躍できるまちづくり

魅力ある産業や雇用、交流を創出することで、地方回帰の機運を最大限に発揮し、町と関わるすべての人の夢をかなえる新たな機会と活躍の場をつくります。



### (3) 地域資源を活かした 魅力あるしごとづくり 【産業 / 雇用】

若者や女性が確実に地元に着定するため、企業誘致や既存産業の振興を図るとともに、起業や創業を目指す人や、サテライトオフィスやテレワークに取り組む人などを後押しし、魅力ある仕事づくりにも力を入れていく必要があります。

さらに、AIや5Gなどの先端技術を有効に活用した産業の高度化を推進していきます。

#### 【具体的な施策】

- (3) - 1 活気ある農水商工業の振興と連携
- (3) - 2 企業誘致と起業・創業の推進
- (3) - 3 多様な働き方と雇用の創出

【効果を示す主な指標】	基準値	R7目標
農業・漁業の新規就業者数 (累計)	—	10人
起業・創業件数(累計)	—	50件
若者の就業率	86.3% (H27)	88.0%

### (4) 多様な交流と 移住・定住の促進 【交流 / 定住】

「選ばれるまち」として、まちの魅力を創出・発信することにより、本町への活気ある人の流れをつくり、定住・交流人口の拡大を目指します。

そのためには、本町の魅力や暮らしやすさなどを積極的に発信・提供することはもちろん、地域ぐるみで移住を希望する人を地域の一員として受け入れる意識の醸成が必要です。

#### 【具体的な施策】

- (4) - 1 魅力の創出と多様な交流の促進
- (4) - 2 地元定着とU/Iターンの促進
- (4) - 3 国際交流と外国人材の受入れ

【効果を示す主な指標】	基準値	R7目標
観光入込数	630,112人 (R1)	750,000人
社会動態	△50人 (R1)	社会増
在留資格「技能実習」「特定技能」の外国人の数	194人 (R1)	250人

# 暮らし

## 3. 暮らしやすさを築き、やすらぎのあるまちづくり

災害の少ない地域であるという強みを活かしながら、誰もが便利で快適に、安心して暮らすことができる、居心地のよい生活基盤を築き上げていきます。



### (5) 快適な生活基盤と持続可能な社会の構築 【生活基盤】

安全な道路環境の整備や公園、住宅などの維持管理、時代の潮流であるSociety 5.0を実現するための高度な情報通信網の整備など、快適に暮らすことができる生活基盤を構築していくことが必要です。

また、都市機能の効果的な集約と、利便性の高い地域公共交通ネットワークによるコンパクトなまちづくりを推進することが必要です。

#### 【具体的な施策】

- (5) - 1 市街地の再構築と地域交通網の充実
- (5) - 2 利便性の高い社会基盤の構築
- (5) - 3 居心地の良い生活空間の創出

#### 【効果を示す主な指標】

	基準値	R7目標
デマンド交通利用者数	15,262人 (R1)	18,000人
マイナンバーカード取得率	11.5% (R1)	25.0%
空き家バンク成約件数 (売買・賃貸) (累計)	—	50件

### (6) 安心・安全体制の強化と備えの充実 【防災 / 安全】

異常気象による自然災害などが全国各地で頻発する中、町民の防災・減災に対する意識は向上しており、緊急事態に対する体制や備えの充実など、安全に暮らすことができるまちづくりがますます求められます。

また、地域ぐるみの見守り体制の構築など、複雑かつ凶悪化する犯罪の未然防止や抑止に努め、暮らしの安心を確保します。

#### 【具体的な施策】

- (6) - 1 防災基盤の強化と備えの充実
- (6) - 2 防犯・交通安全対策の推進
- (6) - 3 消防・救急体制の充実

#### 【効果を示す主な指標】

	基準値	R7目標
災害備蓄品の充足率	78.9% (R1)	100.0%
町内の交通事故発生件数	449件 (R1)	基準値以下
消防団員の定員充足率	88.3% (R1)	100.0%



## 笑顔

### 4. 笑顔をささえる、幸せなまちづくり

充実した福祉と医療体制に支えられ、地域ぐるみの健康づくりと良好な生活習慣が健康寿命の延伸をもたらす、笑顔で幸せを実感できる思いやりのまちをつくります。



#### (7) 福祉・医療の充実とささえる 社会の仕組みづくり 【福祉 / 医療】

ますます高齢化や生産年齢人口の減少などが進む中、福祉を担う人材の育成・確保や社会全体で支え合う仕組みづくりが必要となっています。

保健・介護・医療などが緊密に連携した地域医療体制の確立を目指すとともに、地域での見守り支援体制を強化するなど、誰もが安心して暮らすことができるような環境づくりを推進していく必要があります。

##### 【具体的な施策】

- (7)ー 1 福祉で支える暮らしの推進
- (7)ー 2 医療体制の充実と連携によるケア体制の構築
- (7)ー 3 誰もが活躍できる社会の実現

【効果を示す主な指標】	基準値	R7目標
介護施設入所待機者数 (介護度3以上)	63人 (R1)	40人
被保険者一人あたり医療費	427,480円 (R1)	428,000円
ハートフルフェスティバル 来場者数	1,000人 (R1)	1,000人

#### (8) 健やかに暮らし続ける 健康づくりの推進 【健康づくり】

誰もが住み慣れた地域で健やかに生活することができるよう、適切な生活習慣や健康づくり、生涯スポーツを推進し、健康寿命の延伸を目指します。

また、介護を必要とする状態にならないよう、地域が主体となった介護予防やフレイル予防の取組みを推進する必要があります。

##### 【具体的な施策】

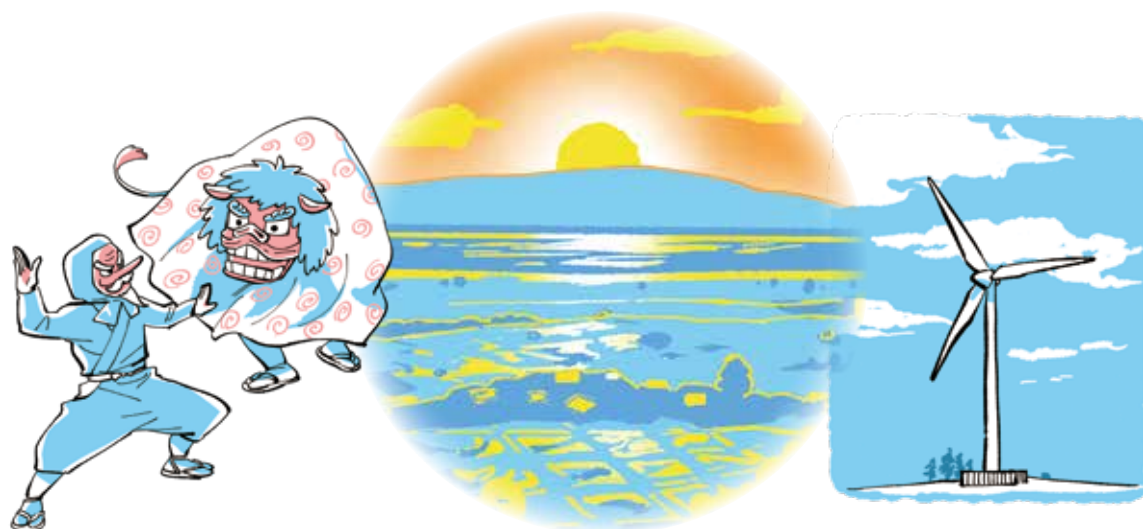
- (8)ー 1 適切な生活習慣と健康づくりの推進
- (8)ー 2 介護予防・フレイル予防の推進
- (8)ー 3 生涯スポーツの推進

【効果を示す主な指標】	基準値	R7目標
高血圧者の割合 (40~47歳の国民健康保険者)	27.3% (R1)	25.0%
介護保険認定者割合 (65歳以上)	18.8% (R1)	18.2%
体育施設利用者数	187,607人 (R1)	220,000人

# 恵み

## 5. 恵みがつなぐ、文化のまちづくり

町の財産である湧水などの豊かな資源や扇状地に広がる恵まれた自然環境、美しい景観とそこに根付く伝統文化を守り、後世に確実に伝えていきます。



### (9) 豊かな自然環境の保全と地域資源の活用 【自然 / 資源】

黒部川の水に育まれた扇状地の豊かな自然環境は、すべての町民の誇りであり、町の恵みそのものであり、これらを再認識し、磨き、守り、伝えていきます。

さらに、再生可能エネルギーの活用促進やリサイクルの推進など、本町の豊かな自然環境と調和した持続可能な循環型社会の形成を推進していくことが求められます。

#### 【具体的な施策】

- (9) - 1 豊かな水資源と大地の活用・保全
- (9) - 2 地域資源の発掘と活用
- (9) - 3 循環型社会の構築

#### 【効果を示す主な指標】

	基準値	R7目標
沢スギ保全ボランティア参加者数	373人 (R1)	500人
フィールドミュージアム事業参加者数(累計)	—	5,000人
公共施設におけるCO <sub>2</sub> 排出量(車両・機械設備等を含む)	3,777トン (R1)	基準値から 5%削減

### (10) ふるさとの文化の保存と伝承 【郷土 / 文化】

地域では祭りや行事など、固有の文化や伝統が根付いており、地域に伝わる文化や伝統をふるさとの誇りとして、次の世代にしっかりと引き継いでいく必要があります。

また、子どもたちが、ふるさとの魅力や文化に触れあう機会を数多く創出することで、豊かな感性と感受性を育み、町の文化を支える人を育成していきます。

#### 【具体的な施策】

- (10) - 1 伝統文化の保存と伝承
- (10) - 2 芸術・文化の振興
- (10) - 3 生涯学習の機会創出

#### 【効果を示す主な指標】

	基準値	R7目標
地域のささえあい推進事業実施件数(累計)	—	10件
コスモホール利用者数	30,107人 (R1)	35,000人
町民一人あたり図書貸出数	3.8冊 (R1)	4.2冊



## ▽ 将来人口

「目標とする10年後の入善町の人口です」



本町の人口は、平成2年頃の約30,000人をピークに減少し続けています。国立社会保障・人口問題研究所による推計では、今後ますます人口減少が加速し、本町の人口は本計画の目標年次である令和12年(2030年)には、19,698人まで減少すると見込まれています。

しかし、人口は町の活力と元気の目安となる大切な要素であることから、人口減少に歯止めをかける施策の展開が必要不可欠であります。

若者の雇用を確保し、出会いがあり、産み育てやすい環境づくりに加え、安全で安心な生活環境の整備などによる定住の促進など、「ストップ人口減少」の取組みを強化することで、人口の維持に努め、令和12年における目標人口を23,000人に設定します。

【人口ビジョンにゆうぜん目標値】

令和12年(2030年) : 23,796人 → 令和42年(2060年) : 20,000人

■人口の推移と目標人口



資料：～平成27年 国勢調査  
令和2年 住民基本台帳(令和2年10月1日現在)  
令和7年～ 国立社会保障・人口問題研究所

## ■ 計画を推進するための横断的な視点

「テーマを横断して展開するまちづくりの方針です」

### ● 計画推進の体制 ～町民と行政が共に歩むまちづくり～

地域コミュニティや様々な活動団体、近隣自治体など、多様な主体との連携をより強固なものとし、町民ニーズに寄り添いながら、より効率的で効果的な行政運営を目指します。

### ● 地方創生の実現 ～人口減少を克服するまちづくり～

切れ目のない施策の展開により、就職・結婚・子育て・教育の希望をかなえ、次の世代へ確実につなげる暮らしやすさの良好な流れを構築し、町の最重要課題である「ストップ人口減少」の実現を目指します。

### にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略との一体的推進

第7次入善町総合計画の策定においては、町民アンケートやワークショップ、パブリックコメント等を通して、町民をはじめとする多くの人から意見や提言をいただきながら、それらを反映しています。

総合戦略に位置づけられる地方創生を実現するための施策や事業は、まちづくりの指針である総合計画に内包されており、総合戦略と総合計画を一体的に整理し、推進することが有効です。

#### 1. 計画期間

令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

#### 2. 戦略のフォローアップ

本戦略の推進に当たっては、住民をはじめ「産」「官」「学」「金」「労」「言」等が情報を共有しながら連携を図り、「入善で暮らしたい希望をかなえるまちづくり」の実現に向けて、町全体が一体となって取り組んでいきます。

#### 3. 戦略の基本的な考え方

ストップ人口減少！

### 「もっといい街、住みよい入善」への挑戦

～入善町で暮らしたい希望をかなえるまちづくり～

#### 4. 戦略の目指す将来像

- (1) 人口の自然減を緩やかにする
- (2) 人口の社会減からの脱却

#### 5. 計画人口

人口ビジョンにおける人口の将来展望を踏まえ、2060年の人口見込みを20,000人とします。



## 戦略の基本目標 4つの柱

### 戦略 其の一

#### 結婚・出産・子育てしやすい地域づくり

##### ■ 基本目標

〔若い世代の結婚・出産・子育てで教育の希望をかなえる〕

◇ みんなの「出会い」と「産みたい」をかなえ、「育てたい」をささげる

##### 基本的方向性

若い世代が希望通りに結婚し、安心して妊娠・出産・子育て・教育ができるよう、地域ぐるみで子どもを産み育てやすいまちを目指します。

##### 重点的な施策

- 結婚に対する支援
- 「出産・子育てにやさしいまち」の実現
- 未来を担う子どもたちの郷土愛の醸成
- 仕事と生活のバランスがとれた環境づくり

##### 数値目標

○ 合計特殊出生率 **1.60**

### 戦略 其の二

#### しごとづくり

##### ■ 基本目標

〔産業の活性化を促し、安定した雇用を創出する〕

◇ みんなの「働きたい」をかなえる

##### 基本的方向性

産業の振興により、若者から高齢者まで、それぞれの年代のライフスタイルやライフサイクルに合わせた雇用ニーズに応え、安定した雇用の創出を図り、すべての町民の「働きたい」を実現するまちを目指します。

##### 重点的な施策

- 持続可能な基幹産業を築く担い手の育成と仕組みづくり
- 地域資源の高価値化と地場産業の持続的発展
- 選ばれる企業誘致活動の推進と新たな産業の創出
- 生活を支える商業の活性化とまちのにぎわいづくり
- 多彩な雇用ニーズへの対応

##### 数値目標

○ 町民の就業率 **90.0%**

### 戦略 其の三

#### ひとの流れづくり

##### ■ 基本目標

〔入善町に新しいひとの流れをつくる〕

◇ みんなの「行ってみたい」をうながし、「住んでみたい」につなげる

##### 基本的方向性

選ばれるまちとして、まちの魅力を創出・発信することにより、「にゅうぜんファン」の増加を図るとともに、本町への新たな人の流れをつくり、定住・交流人口の拡大を目指します。

##### 重点的な施策

- 観光・交流の推進
- にゅうぜんブランドの創出
- 若い世代の流出抑制とU・Iターンと定住の促進

##### 数値目標

○ 社会動態 **社会増**

### 戦略 其の四

#### まちづくり

##### ■ 基本目標

〔扇状地の恵まれた環境の中で、豊かで安心して暮らせるまちをつくる〕

◇ みんなの「暮らしやすさ」をきざく

##### 基本的方向性

扇状地の恵まれた環境の中で、安心して快適な生活環境を創出し、誰もが健康でいきいきと心豊かに生活できるまちを目指します。

##### 重点的な施策

- 健康寿命の延伸
- 地域医療体制と高齢者福祉の充実
- 安全・安心なまちづくり
- より快適な生活基盤の構築
- 互いに支え合うやさしい地域社会づくり

##### 数値目標

○ アンケートによる住民満足度 **80.0%**



入善町  
NYUZEN MACHI

## 第7次入善町総合計画

概要版

発行日 令和3年3月  
発行 入善町  
編集 企画財政課  
〒939-0693  
富山県下新川郡入善町入膳3255  
TEL (0765) 72-1100(代)  
印刷 株式会社チューエツ

入善町ホームページ  
<https://www.town.nyuzen.toyama.jp/>

令和3年3月

